

プロジェクション・サイエンスと Psychosemantics Projection Science and Psychosemantics

戸田山 和久[†]

Kazuhisa Todayama

[†]名古屋大学

Nagoya University

todayama@is.nagoya-u.ac.jp

Abstract

He will give a lecture on "psychosemantics"; a big issue in philosophy in relation to projection science.

Keywords — Projection Science, Psychosemantics

1. 概要

認知科学はこれまで、外部からの入力がどのように処理、貯蔵、利用されるかを主に研究してきたが、人は作り上げた表象をもう一度自らの外に投射＝プロジェクションする。しかし、このような過程はプロジェクション・サイエンスの専売ではない。心的表象がいかにして世界の中の何かを「意味する」ことができるのか、というのは哲学の大問題で、psychosemantics と呼ばれている。本講演では、この問題について論ずる。

参考文献

- [1] 鈴木宏昭 (2017) 「教育ごっこを超える可能性はあるのか? : 身体化された知の可能性を求めて」
大学教育学会誌, 39, 12-16
- [2] 鈴木宏昭, 岡田浩之 (2017) 「認知科学」, 『研究開発の俯瞰報告書 システム・情報科学技術分野 2017』. 科学技術振興機構研究開発センター
- [3] 鈴木宏昭 (2016) 「プロジェクション科学の展望」. 日本認知科学会第 33 回大会発表論文集